

授業科目名 (英文表記)	熊野郷土学D ～郷土学からの地域振興～ (Kumano hometown study D)			(新宮会場)
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義	
担当教員	此松 昌彦、尾久土 正己、永瀬 節治、木川 剛志、渡部 幹雄、鈴木 裕範、 藻谷 浩介、谷 俵太、前田 正明			
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目	
実施日・時間	① 10月6日(土) 13:00～17:00	観光学部	尾久土 正己	
	② 10月27日(土) 13:00～17:00	観光学部	永瀬 節治	
	③ 11月24日(土) 13:00～17:00	教育学部	此松 昌彦 (ゲスト講師 藻谷、前田)	
	④ 12月8日(土) 13:00～17:00	図書館	渡部 幹雄	
	⑤ 1月19日(土) 13:00～17:00	非常勤講師	鈴木 裕範	
	⑥ 1月26日(土) 13:00～17:00	観光学部	木川 剛志 (ゲスト講師 谷)	

【授業のねらい・概要】

「熊野郷土学D」では、熊野郷土学A・B・Cでは、地域資源として自然、文化、歴史を学び、地域情報の発信や地域経営、環境保全と自然資源を活用した可能性を学んだ。Dでは地域が持つ生活史や環境から地域の人々の生活を学び、更に今あるまちの魅力を活かした次世代の観光まちづくり、防災まちづくりのあり方を、持続可能な視点から考えます。学生、地域づくり関係者、観光関係者、地域ガイド、ジオ関係者、教育関係者、Uターン者等幅広い分野からの受講を期待しています。

【授業計画】 ※記載の内容は変更することもあります。

第1回 「暮らしの中の天文学」 観光学部 尾久土正己

今のように地理的な情報や気象情報が誰でも手に入る前は、人々は気象風土、天文学を活用して暮らしてきました。天文学がどのように暮らしに活用されてきたのかを紹介します。

第2回 「地域の生活文化資源を活かした観光まちづくり」 観光学部 永瀬節治

地域に潜在する歴史的空間や景観、生業・生活文化などの身近な資源を活かしながら、地域に誇りと活力を生む「観光まちづくり」のあり方について考えます。

第3回 「過去から知る災害とこれからのまちづくり」

教育学部 此松昌彦、ゲスト講師 藻谷浩介、和歌山県立博物館 前田正明
熊野地域では過去から今まで多くの災害がありました。過去の災害を知りどんな工夫をしてきたのでしょうか。さらに東日本大震災の被災地の教訓を踏まえて、これからの防災まちづくりについて考えます。

第4回 「MLAKの連携、フィールドミュージアム」 和歌山大学図書館 渡部幹雄

地域には他にはない地域資源があり、それを保護し、保存し、活用し、伝えていくことが重要です。これからは図書館や博物館などの社会教育施設が一体となって、地元の人たち、観光客などが使える施設にしていくことが、持続可能な地域としての社会教育施設として必要になります。

第5回 「和菓子文化とまちづくり」(非常勤講師 鈴木裕範)

和菓子の店と菓子が作る街の魅力があり、その魅力を活かすまちづくりがあります。和菓子の世界を探訪し熊野そして紀州の文化的風景を明らかにして、その可能性を考察します。

第6回 「地域プロデュース特論(まちなか散策)」(観光学部 木川剛志、非常勤講師 谷俵太)

地域のストーリーを聞き出す手法と、それを活用した観光地域づくりを横路地探訪、映画、映像プロモーションを題材に紹介します。

【到達目標】

熊野地域の振興について考え、自らのことばで語り、興味に基づいて自ら文献等を調べることができる。

【教科書】

特に定めません。基本的には適宜、講義ごとに資料を配布します。

【参考書】

『わかやまを学ぶ紀州地域学初歩の初歩』清文堂 東悦子 藤田和史 編

【授業時間外学習】

紀伊半島の産業のニュースについて関心を持ちながら集めておいてください。

地域でどんなことが話題になっているのか整理しておいて下さい。復習と自主的な学習が必要です。

【履修上の注意・メッセージ】

基礎知識がなくても理解できるように授業を構成しますが、各自でわかりやすい入門書などを読んで理解を深めるようにしてください。講義は1回完結です。郷土の地形地質が、地域の暮らしにどうつながるのかを考えてみて下さい。